

## 『陸前高田市の被災から復興への道のり』

◆開催日時 2024年3月7日(木) 14:00~16:00

土木学会CPD認定プログラム

<土木学会認定CPDプログラム(2.0単位)セミナー終了後にレポートを提出して頂きます>

**※土木学会以外の団体におけるCPD認定につきましては各団体にご確認ください。他団体が運営するCPD制度に関する内容については回答いたしかねます。**

◆講師 津波被災地復興派遣 土木技術者 萩野良允(元 神奈川県県土整備部)  
講演協力① 陸前高田市 戸羽良一理事<被災当初の壊滅的状况について>  
講演協力② 清水建設JV 山内義一元所長<ベルコンによる嵩上げ工法>

◆主催 NPO法人 国境なき技師団

◆後援 公益社団法人 土木学会

◆申込方法 下記申込リンクより、必要事項をご記入の上お申込ください

申込期日 3月1日(金)

### ◆講演の概要

#### (1) 陸前高田市における東日本大震災の被害状況

2011年3月11日に発生した東日本大震災の大津波により、陸前高田市では人口2万4千人余の7%にあたる1,700人以上の住民の命が奪われ、その中には市職員の25%に及ぶ111名が含まれていました。最大浸水高17.6mの大津波により、中心市街地にあった市庁舎をはじめ、中央公民館、体育館、図書館などほとんどの施設が被災し、市としての機能は壊滅状態になりました。そのような中で、市は住民とともに復興の理念を共有しつつ2011年12月には復興計画をたて新しいまちの基盤づくりを始めました。

#### (2) 復興計画・復興に向けた取り組み

①防潮堤の建設…高田松原の復活 ②市街地の嵩上げと土地区画整理事業…約12mの嵩上げ工事 ③高台への移転促進 ④公営住宅の建設 ⑤道路・公共施設の再建…インフラの整備

#### (3) ゼロからのまちづくり…地盤嵩上げによる新しい中心市街地をつくる

大型ベルトコンベアによる大容量急速土運搬の実施

#### (4) 復興のシンボル<奇跡の一本松>と賑わいのまちへ

奇跡の一本松に代表される高田松原の再生に向けた取り組みとまちづくり

